

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	03	観光による産業の振興
まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	02	えべつへの新しい人の流れをつくる

事業名	観光振興計画推進事業
担当課	経済部商工労働課(商店街・観光振興担当)

目的と 事業概要	江別市観光振興計画に基づき、「食と農」「歴史あるれんが」を観光の軸として、道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るため、地域資源の活用や情報発信、産業連携新商品開発支援、観光人材の育成、観光推進体制の検討などを行う。
前年度までの 実施内容 と効果	江別における観光に関する課題等を把握しながら、平成29年度に、「食と農」「歴史あるれんが」を観光の軸として、道央圏からの誘客による交流人口の増加を目指す江別市観光振興計画を策定した。 また、計画策定と並行して、道央圏での観光プロモーションや市外在住者・留学生を対象としたモニターツアーの実施、観光人材育成のためのセミナーなどを行った。
H31年度の 実施内容	【意見募集にあたっての論点】 新たなにぎわいの創出や観光資源の魅力向上を図るため、道央圏での観光プロモーションを行うほか、ロケ地などに選んでもらえるようPR写真集を作成し、映像制作会社等に提供する。また、参加者からSNSなどにより江別の魅力を発信してもらうバスツアーを開催するほか、市内を巡るサイクルツーリズムイベントやリアル謎解きゲームを開催する。さらに、観光人材育成・観光意識醸成のためのセミナーの開催や観光推進体制整備の検討を進める。そのほか、産業連携による地元農産物を活用した江別市ならではの新商品の開発を支援する。

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
観光振興計画策定支援事業	1,359.2					
観光振興計画推進事業		1,550.0	1,022.0	△528.0	955.0	△67.0
サイクルツーリング事業	30.0	50.0	150.0	100.0	150.0	
観光推進体制整備事業			42.8	42.8	42.8	
計	1,389.2	1,600.0	1,214.8	△385.2	1,147.8	△67.0
財源内訳						
国・道支出金	694.6	800.0		△800.0	573.0	573.0
市債						
その他					100.0	100.0
一般財源	694.6	800.0	1,214.8	414.8	474.8	△740.0
主な増減理由(前年比)	モニターツアー事業等の見直しによる委託料の削減のため、観光振興計画推進事業費が減少している。					
査定内容	<ul style="list-style-type: none"> PR写真集の作成・留学生を対象としたバスツアーに関する事業費は地域発見魅力発信事業に計上(△67.0万円) 地方創生推進交付金(国支出金)を財源として計上(573.0万円) ふるさと納税を財源として計上(100.0万円) 					

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	02	健康づくりの推進と地域医療の安定

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	健康づくり推進事業
担当課	健康福祉部保健センター

目的と 事業概要	健康都市えべつへの推進に向け、生活習慣病予防のための食生活改善、こころの健康づくり、運動の機会の充実を図る。食生活改善推進員と地域健康づくり推進員の活動支援のため、事業の補助を行う。こころの健康づくり講演会や運動、食の講座などを実施する。
前年度までの実施内容 と効果	自治会や高齢者クラブ等の団体に健康講話の実施、E-リズムの出前指導を行い、こころの健康づくり講演会などを開催した。平成29年度は、健康教育や講座等を774回実施し、約1万人が参加している。 地域健康づくり推進員事業では、体育館や会館等において、ノルディックウォーキング、体操教室などを開催した。食生活改善協議会は、高齢者を対象にふれあいレストランを開催し、食を通じた健康づくりを図った。
H31年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 ・不足しがちな野菜摂取の促進や食事バランス改善のため、食生活改善協議会の委託料を増額することで、活動を支援し、地域への展開を図る。 ・自殺対策計画にもとづき、ゲートキーパー研修を充実させるとともに、各種相談先の周知を図る。 ・住民が主体的に運営する「通いの場」等を活用して、お口の健康づくりやバランスのとれた食生活、疾病予防などの講話を実施する。

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
非常勤職員報酬(保健師)	226.0	244.7	239.5	△5.2	240.8	1.3
一般報償費(講師・推進員謝礼等)	71.2	115.9	109.2	△6.7	105.4	△3.8
消耗品費等需用費・役務費等	27.8	46.3	29.7	△16.6	29.7	
印刷製本費(啓発チラシ等)	14.1	19.6	60.2	40.6	60.2	
一般委託料(食生活改善協議会等への委託)	33.4	105.6	67.2	△38.4	67.2	
一般補助・交付金(地域健康づくり推進事業)	28.6	40.0	42.0	2.0	42.0	
計	401.1	572.1	547.8	△24.3	545.3	△2.5
財源						
国・道支出金	6.9	24.6	23.3	△1.3	23.3	
市債						
その他	11.0	215.7	9.9	△205.8	249.9	240.0
一般財源	383.2	331.8	514.6	182.8	272.1	△242.5
主な増減理由(前年比)						
平成31年度要求から健康づくり推進事業にE-リズム推進事業を統合。 地域での食からの健康づくりに向けて、食生活改善推進協議会の活動をさらに支援するため委託料を増額計上したが、平成30年度予算計上していた、健康づくりプラン21の中間報告書、後期行動計画方針普及版作成費用73万円分が減額となったため、前年比では総額減となった。 自殺対策計画推進のため、地域での相談先を普及する啓発チラシ・カードや、食からの健康づくりのためのレシピ集の増刷等のため印刷製本費を増額計上した。						
査定内容						
・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△2.5万円) ・ふるさと納税を財源として計上(240.0万円)						

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	01	安全な暮らしの確保

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	自治会防犯灯設置費補助金
担当課	生活環境部市民生活課

目的と 事業概要	<p>自治会・商店街・工業団地が地域に防犯灯を設置し、自ら地域環境整備を推進することにより、夜間における犯罪防止と安全の確保、商店街の美観維持、工業団地内の保安及び環境整備を図る。</p> <p>①防犯灯設置費補助金 LED防犯灯の新設及びLED防犯灯への更新の場合、その費用の一部(1/2若しくは1/3・限度額あり)を補助する</p> <p>②LED防犯灯普及奨励金 LED以外の防犯灯からLED灯に更新した防犯灯1灯につき3,000円を翌年度に交付する</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>②LED防犯灯普及奨励金 現行制度は、平成28年度にLED防犯灯へ更新した分(平成29年度に奨励金を支給した分)以降、平成30年度更新分(平成31年度支給分)までを対象としている。 同奨励金については積極的に活用していただき、制度導入前には全防犯灯中の58.7%であったLED灯が平成30年度末には75.7%(全防犯灯約8,793灯中、LED灯約6,657灯)になる見込みである。</p>
H31年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の②LED防犯灯普及奨励金は、平成28年度にLED防犯灯へ更新した分(平成29年度に奨励金を支給した分)以降、平成30年度更新分(平成31年度支給分)までの3年間の制度としている。 ・しかし、平成30年度末で、2,000灯以上がLED灯以外のまま残る見込である。 ・引き続きCO2削減を目指し、維持管理経費の削減を図るとともに、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」に該当する水銀灯の電球の製造が2020年(平成32年)12月31日以降禁止されることから、LED灯への更新の推進が求められている。 ・そのため、第6次総合計画の終了する2023年(平成35年)までにLED化の終了を図るため、奨励金制度を2019年度(平成31年度)更新分以降、2022年度(平成34年度)更新分までの4年間延長することとした。 <p>※2020年度(平成32年度)以降の予算に影響</p>

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
①防犯灯設置費補助金	918.9	1,063.1	1,009.2	△53.9	1,001.6	△7.6
②LED防犯灯普及奨励金	170.7	119.1	147.9	28.8	147.9	
計	1,089.6	1,182.2	1,157.1	△25.1	1,149.5	△7.6
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他					1,000.0	1,000.0
一般財源	1,089.6	1,182.2	1,157.1	△25.1	149.5	△1,007.6
主な増減理由(前年比)						
LED防犯灯の価格が下がったため。						
査定内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△7.6万円) ・その他の財源として基金を活用 						

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	01	子育て環境の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	放課後児童クラブ運営費補助金
担当課	健康福祉部子育て支援室子育て支援課

目的と 事業概要	小学生の子を持つ保護者の就労支援及び放課後の児童の生活の場の確保並びに健全育成を目的として、民間が開設している放課後児童クラブに対しその運営に係る費用の一部を補助することにより、市内における放課後児童健全育成事業の充実を図る。
前年度までの 実施内容 と効果	<p>市内民間放課後児童クラブの安定した運営が図られることにより、放課後に児童とその保護者が共に安心できる「生活の場」が提供される。</p> <p>○平成30年度補助対象クラブ数 16クラブ</p> <p>【補助金の内容】</p> <p>○基本額(利用児童数による)</p> <p>○加算額(開設日数・長時間開設・障がい児受け入れ・処遇改善)</p>
H31年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間放課後児童クラブの新規開設(2クラブ予定)に伴う事業費(補助金)の増加。 ・待機児童の発生が見込まれる小学校区において民間放課後児童クラブの新設等を行うものに、民家・アパート等施設の改修に必要な費用を補助することにより、放課後児童クラブの設置促進等を図る。

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
運営費補助金(加算含む)	8,343.2	10,741.8	11,266.9	525.1	11,266.9	
施設改修費等補助金			200.0	200.0	200.0	
計	8,343.2	10,741.8	11,466.9	725.1	11,466.9	
財源内訳						
国・道支出金	5,354.3	7,042.6	7,452.8	410.2	7,452.8	
市債						
その他						
一般財源	2,988.9	3,699.2	4,014.1	314.9	4,014.1	
主な増減理由(前年比)	民間放課後児童クラブの新規開設(2クラブ予定)に伴う、運営費補助及び施設改修費等の増。					
査定内容	・要求どおり予算計上					

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	医療的ケア児支援事業
担当課	教育部学校教育支援室教育支援課

目的と 事業概要	小中学校において医療的ケア児の受入れ体制を整備し、小中学校における医療的ケア児の教育の場を提供する。
前年度までの 実施内容 と効果	平成30年10月1日から看護師3名を教育委員会に配属し、小中学校における医療的ケアの実施に向けた研修を行うほか、本事業の運営管理に必要となる医療的ケア運営協議会の設置や取組に関するガイドライン等の作成を行っている。
H31年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>「実施内容」 小中学校において、平成31年度から痰の吸引や経管栄養等の医行為を必要とする医療的ケア児の受け入れ体制が整う予定である。 対象児童については、主治医等からの意見や学校の設備状況を勘案しながら、医療的ケア児にとって十分な教育を提供できるか否かを検討し、保護者との合意形成を図った上で受け入れを行う。 また、安全性を確保するために、校内に医療的ケア安全委員会を設置し、学校と保護者、医療機関等が連携して実施することとし、配置された看護師が医療的ケアを提供する。</p> <p>「意見募集にあたっての論点」 医療的ケア児を受け入れるにあたっての、受入れ体制の在り方や安全性の確保について</p>

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
医療的ケア運営協議会委員報酬			34.6	34.6	34.6	
研修、視察、打合せにかかる旅費			10.2	10.2	10.2	
衛生用品等消耗品、被服費			6.3	6.3	6.3	
介助マット、パーテーション等			31.3	31.3	30.0	△1.3
計			82.4	82.4	81.1	△1.3
財源内訳						
国・道支出金			1.0	1.0	1.0	
市債						
その他					40.0	40.0
一般財源			81.4	81.4	40.1	△41.3
主な増減理由(前年比)						
医療的ケア児受入れに関する経費を新規事業として計上。						
査定内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△1.3万円) ・ふるさと納税を財源として計上(40.0万円) 						

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	02	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	セラミックアートセンター企画展開催事業
担当課	教育部郷土資料館(セラミックアートセンター事業担当)

目的と 事業概要	芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品の企画展を開催し、市民に芸術・文化鑑賞の場を提供する。
前年度までの 実施内容 と効果	平成7年度から道内外の美術館等と連携し、市内では鑑賞の機会の少ない優れた工芸作品の展示会を開催してきた。平成20年度からは市内高等教育機関との共催によるFUROSIKIフェスティバル、平成27年度からは市内中学高校美術部合同展を開催するなど、市民参加型の催しも実施している。 【平成29年度】 江別市中学校・高校美術合同展(北翔大学との共催) えべつFUROSIKIフェスティバル(北翔大学短期大学部との共催) 平成30年度以降の企画の策定 【平成30年度】 北海道功労賞受賞記念展「手島圭三郎 北の大地に祈りを込めて」展 東京国立近代美術館工芸館名品展—多彩なる近現代工芸の煌めき— 江別市中学校・高校美術合同展(北翔大学との共催) えべつFUROSIKIフェスティバル(北翔大学短期大学部との共催) 平成31年度以降の企画の協議(一財 地域創造助成事業の活用)
H31年度の 実施内容	【意見募集にあたっての論点】 ・開館25周年記念「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司」展の開催にあたり、本展をより多くの市民に鑑賞してもらい、地域の文化資源である小森忍と、文化観光の発信地としてのセラミックアートセンターの存在を効果的に周知する方法について ・江別市中学校・高校美術合同展、えべつFUROSIKIフェスティバルを多くの市民に知ってもらい事業に全市的な広がりを持たせることについて ・地域文化功労者表彰記念「手島圭三郎の絵本原画」展をとおして、文化資源である手島氏の活動を全市的に周知する開催方法について

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
展示会場整理員謝礼	5.0	66.5	38.7	△27.8	38.7	
企画調査旅費	22.0	23.5	41.7	18.2	41.7	
消耗品費	1.1	6.8	31.2	24.4	30.8	△0.4
印刷製本費			31.5	31.5	31.5	
出品作品借用料		5.4	6.5	1.1	6.5	
図録等作成、作品輸送、会場設営委託料	18.9	308.5	240.6	△67.9	201.0	△39.6
一般負担金(企画展開催分担当)			648.0	648.0	648.0	
計	47.0	410.7	1,038.2	627.5	998.2	△40.0
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他		113.5	795.4	681.9	734.4	△61.0
一般財源	47.0	297.2	242.8	△54.4	263.8	21.0
主な増減理由(前年比)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、東京国立近代美術館工芸館の巡回展を開催したため事業費増となった。平成31年度は開館25周年記念展を開催することによる事業費の増加。 開館記念展は、文化庁所管の財団法人と道内文化財財団の助成金を活用することにより、同規模の展示会に比べて市負担額は軽減される。 					
査定内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業費精査の上、要求どおり予算計上(△40.0万円) 					

平成31年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	03	市民スポーツ活動の充実

まち・ひと・しごと創生 総合戦略基本目標	
-------------------------	--

事業名	ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地受入事業
担当課	教育部スポーツ課

目的と 事業概要	<p>【目的】 ラグビーオーストラリア代表チームの公認キャンプ地受け入れを契機にスポーツ合宿地としてのイメージアップと誘致促進にはずみをつけ、トップアスリートなどとの交流により、市民スポーツ活動の活性化を図る。 また、江別市の魅力のPRとイメージアップによる誘客、人的交流を促進するなど、シティプロモートに資する。</p> <p>【事業概要】 ラグビーワールドカップオーストラリア代表の公認キャンプ地受け入れに伴う対応 ・キャンプチーム受け入れに要する仮設設備等の準備 ・ウェルカムセレモニーの実施 ・地域交流イベントの実施 ・各種機会におけるPR活動</p>
前年度までの 実施内容 と効果	<p>(1) 実施内容 :【H30年度実績】 ・ピリカモシリセブンズラグビーシリーズに出場するため来道した7人制ラグビーオーストラリア代表候補チームによる高校生ラグビー部員を対象としたラグビークリニックの開催【6/19】 ・大麻西小学校タグラグビー授業でのオーストラリア選手による指導【9/11】 ・ラグビーワールドカップ1年前イベントへの市長出席【9/21】 ・北海道知事杯女子セブンズラグビートーナメントに市職員大会運営に協力【9/23~24】 ・ラグビーオーストラリア代表チームHCマイケル・チェイカ氏と小・中学生との交流【10/21】</p> <p>(2) 実施効果 :クリニックではオーストラリア選手による実技を交えながらの指導を行い、ラグビーを通じた国際交流を図ることができた。タグラグビー授業では、ラグビー競技を知り、興味を持つことができ、授業終了後には、トップアスリートと交流するなど、ラグビーの認知度向上と市民交流につながる取組みとなった。</p>
H31年度の 実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 平成31年度の事業実施にあたり、ラグビーオーストラリア代表の公認キャンプ地に係る費用等を計上。公認キャンプ地受け入れに関して、以下の内容で事業を実施する。 (1) 公認キャンプ地受け入れに要する練習施設、設備等の設置 (2) オーストラリア関係者との交流事業の実施 (3) ラグビーワールドカップ周知啓発活動の実施</p>

(単位:万円)

予算状況	H29決算	H30予算	H31要求	前年比	予算案	増減
【積算内訳】						
チーム受入れに要する仮設設備等			2,454.9	2,454.9	2,453.4	△1.5
ウェルカムセレモニー実施に係る経費			30.0	30.0	30.0	
地域交流イベント(ラグビー教室等)関係			172.5	172.5	170.9	△1.6
各種啓発費用(啓発ティッシュ、パブリックビューイング等)			122.7	122.7	122.7	
職員旅費(組織委員会会議)			39.0	39.0	39.0	
計			2,819.1	2,819.1	2,816.0	△3.1
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他						
一般財源			2,819.1	2,819.1	2,816.0	△3.1
主な増減理由(前年比)						
ラグビーオーストラリア代表の公認キャンプ地受け入れに関する経費を新規事業として計上。						
査定内容						
・事業費精査の上、要求どおり予算計上(△3.1万円)						